

～木製マドラーで手軽に味に変化を～

岐阜県立森林文化アカデミー 森と木のエンジニア科 林産業コース 加藤一汰

研究内容

通常のコーヒー、マドラーを入れた珈琲、レーザー加工したマドラーを入れた珈琲の3種類の飲み比べアンケート調査を行った。

マドラー製作方法



マドラーの大きさは縦10mm横140mm奥5mm(図1参照)
ヒノキ、スギ、カツラ、キハダの4樹種を使用
それぞれレーザー加工したものとしていないもの2種類ずつ製作
・木製マドラー(レーザー加工なし)製作方法
糸鋸盤やテーブルソーを使いカットする。
・木製マドラー(レーザー加工あり)製作方法
厚さ5mmの板材をレーザーで四角く焼き抜く。(図2参照)

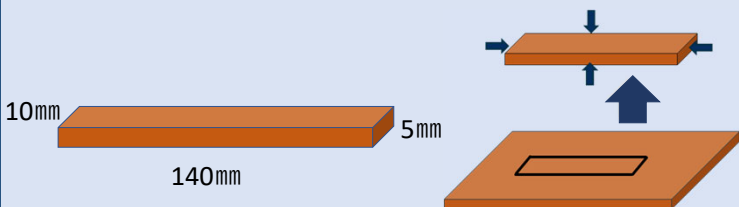


図1 マドラー大きさ 図2 レーザーでのマドラー製作方法

アンケート調査

学祭でコーヒーの飲み比べ調査を行った。
主に香り、苦味、酸味の3点で判断してもらう。
ほかの観点や感想があった場合は下の自由記入欄に書いてもらう。

普通の珈琲の香り、苦味、酸味を変えないとして、残り2種の珈琲では3点において強くなったのか、弱くなったのかを判断してもらう。

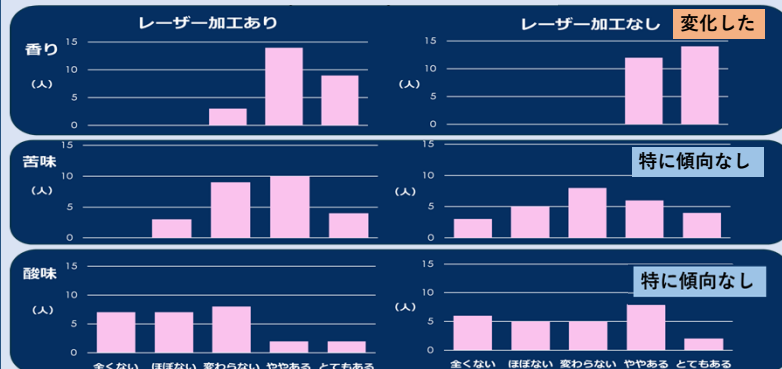


図3 学祭でのコーヒー提供の様子

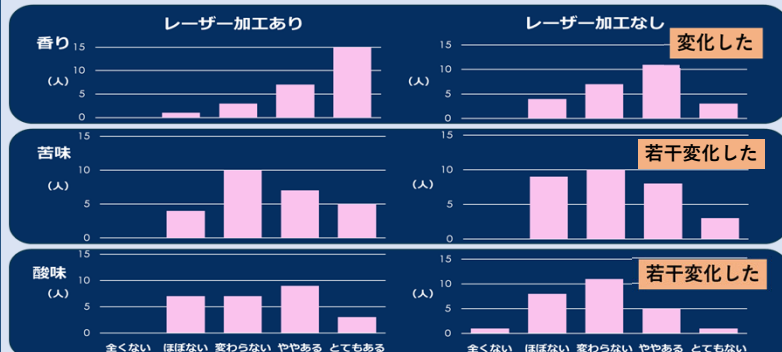
図4 アンケート用紙

調査結果

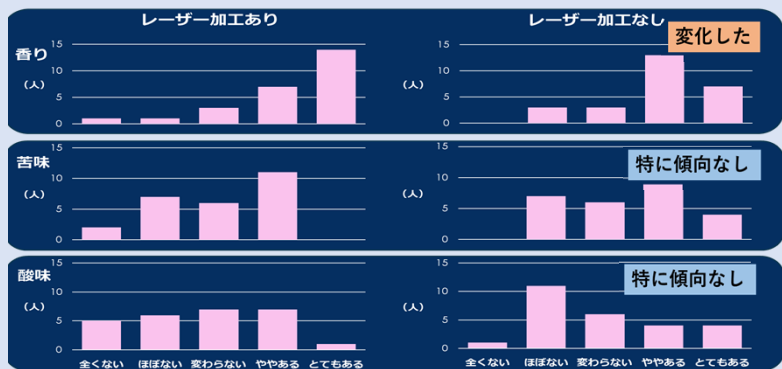
試飲結果(ヒノキ)



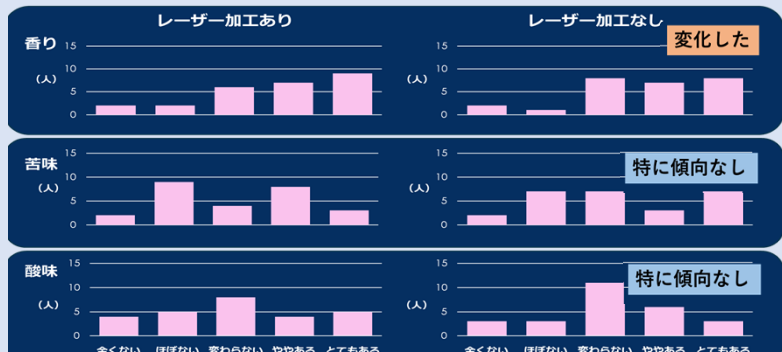
試飲結果(カツラ)



試飲結果(スギ)



試飲結果(キハダ)



まとめ

1. 手軽に味を変化させることができる。
2. 製作方法やサイズから大量生産がしやすく新たな端材利用になりえる。

⇒もしかしたらカフェでの提供も？

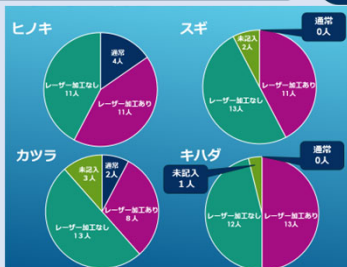


図5 樹種ごとの人気度グラフ

- ・香りはどの樹種でも強いと感じる人がほとんど。
- ・一方で苦みや酸味は感じ方がバラバラだった。
- ・どの樹種でもレーザー加工ありとなしの差はほぼない。
- ・普通の珈琲よりマドラーを入れた珈琲のほうが圧倒的に人気。